

当ファンドの仕組み

商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合／インデックス型	
信 託 期 間	原則として無期限（2025年5月19日設定）	
運 用 方 針	新興国インカム・インデックス・マザーファンドを通じて、実質的に新興国株式ならびに米ドル建て新興国債券に投資することにより、新興国の経済成長を享受しつつインカム・ゲインの確保を目指して運用を行います。sustenキャピタル・マネジメントが独自に算出するエマージング・インカム指数に連動する投資成果を目指します。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	新興国インカム・インデックス・マザーファンド
	マザーファンド	・新興国の株式（DR（預託証券）を含む） ・新興国の公社債 ・新興国株式、新興国債券を投資対象とする投資信託受益証券（ETF）
主な組入制限	当ファンド	株式、上場投資信託受益証券（ETF）および外貨建資産の実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式、上場投資信託受益証券（ETF）および外貨建資産の実質投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	原則として、毎年1月、4月、7月、10月の各25日（休業日の場合は翌営業日）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。	

susten新興国インカム・インデックスファンド
（年4回決算型）
（愛称：エマージング・インカム）

運用報告書（全体版）

第4期（決算日：2026年4月27日）
第5期（決算日：2026年7月27日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「susten新興国インカム・インデックスファンド（年4回決算型）（愛称：エマージング・インカム）」は、2026年7月27日に第4期～第5期の決算を行いましたので、ここに運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社sustenキャピタル・マネジメント
東京都港区虎ノ門一丁目3番1号 東京虎ノ門グローバルスクエア

【問い合わせ先】
電話番号 03-6810-7856
（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）
ホームページ <https://susten.jp/>

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ベンチマーク		投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 額 総 額
	(分配落)	分 配 金 (税引前)	期 騰 落 率		期 騰 落 率		
（設 定 日） 2025年5月19日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 1
第1期（2025年7月25日）	10,644	0	6.4	10,618	6.2	98.8	5
第2期（2025年10月27日）	11,624	110	10.2	11,669	9.9	99.5	31
第3期（2026年1月26日）	12,089	115	5.0	12,123	3.9	101.4	121
第4期（2026年4月27日）	12,668	120	5.8	12,778	5.4	99.9	218
第5期（2026年7月27日）	12,957	125	3.3	13,066	2.3	99.7	297

- (注) 基準価額および分配金は1万口当たりです。
- (注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
- (注) ベンチマークはs u s t e nキャピタル・マネジメントが独自に算出するエマージング・インカム指数です。当ファンドの設定日前日を10,000として指数化しています。エマージング・インカム指数は、新興国株式と米ドル建て新興国債券の価格変動リスクが長期的に概ね均等になるよう設計された合成指数です。基本の資産配分比率は新興国株式：米ドル建て新興国債券＝1：2です。新興国株式に相当する部分はFTSE Emerging Net of Tax（円換算ベース）、米ドル建て新興国債券に相当する部分はJ.P. Morgan Emerging Markets Bond Index Plus（円換算ベース）を使用します。同指数に対する著作権及びその他知的財産権については＜ファンドが対象とする指数の著作権等＞にてご確認ください。（以下同じ）
- (注) 設定日の基準価額は当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。
- (注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、投資信託受益証券組入比率は実質比率を記載しております。

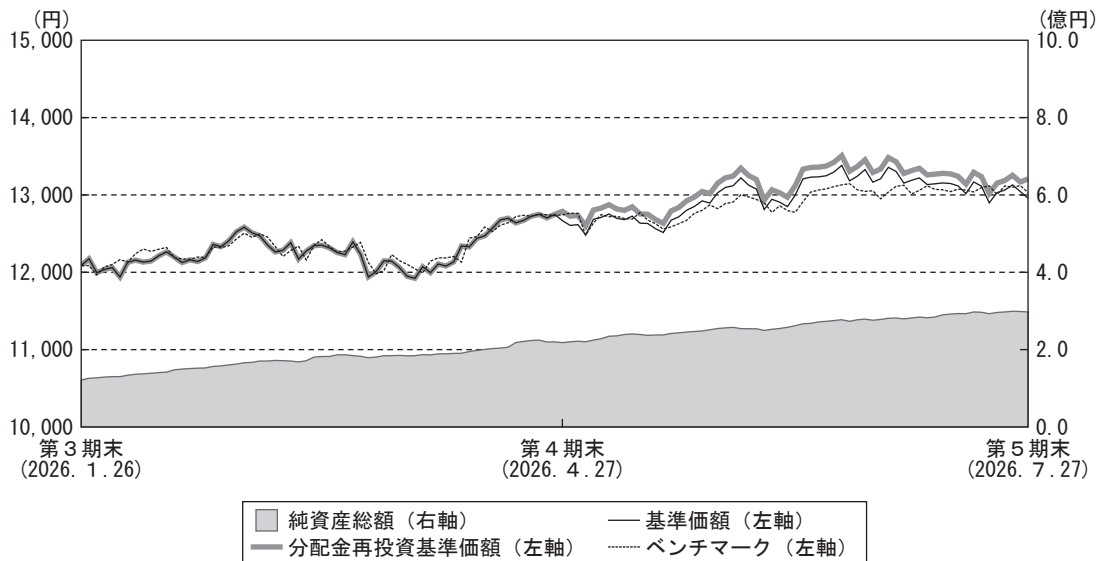
■ 当作成期中の基準価額と市況推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率		騰 落 率	
第4期	（期 首）2026年1月26日	円 12,089	% —	12,123	% —	% 101.4
	1月末	12,061	△0.2	12,135	0.1	100.2
	2月末	12,511	3.5	12,486	3.0	101.7
	3月末	11,922	△1.4	12,078	△0.4	98.1
	（期 末）2026年4月27日	12,788	5.8	12,778	5.4	99.9
第5期	（期 首）2026年4月27日	12,668	—	12,778	—	99.9
	4月末	12,616	△0.4	12,797	0.1	99.5
	5月末	13,028	2.8	12,858	0.6	99.3
	6月末	13,357	5.4	13,074	2.3	99.8
	（期 末）2026年7月27日	13,082	3.3	13,066	2.3	99.7

- (注) 基準価額は1万口当たり、分配金（税引前）込みです。騰落率は期首比です。
- (注) ベンチマークはs u s t e nキャピタル・マネジメントが独自に算出するエマージング・インカム指数です。当ファンドの設定日前日を10,000として指数化しています。
- (注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、投資信託受益証券組入比率は実質比率を記載しております。

■運用経過（2026年1月27日～2026年7月27日）

●基準価額等の推移



第4期首	: 12,089円
第5期末	: 12,957円
既払分配金（税引前）	: 245円
騰落率（分配金再投資ベース）	: 9.2%

- (注) 分配金再投資基準価額および騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件が異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークはs u s t e nキャピタル・マネジメントが独自に算出するエマージング・インカム指数です。当ファンドの当作成期首の基準価額をもとに指数化しています。エマージング・インカム指数は、新興国株式と米ドル建て新興国債券の価格変動リスクが長期的に概ね均等になるよう設計された合成指数です。基本の資産配分比率は新興国株式：米ドル建て新興国債券＝1：2です。新興国株式に相当する部分はFTSE Emerging Net of Tax（円換算ベース）、米ドル建て新興国債券に相当する部分はJ.P. Morgan Emerging Markets Bond Index Plus（円換算ベース）を使用します。同指数に対する著作権及びその他の知的財産権については、ファンドが対象とする指数の著作権等にてご確認ください。（以下同じ）
- (注) 基準価額は1万円当たりの価額です。騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しています。

●基準価額の主な変動要因

当期間は新興国債券（+7.5%）、新興国株式（+8.3%）ともに上昇しました（いずれも当ファンドのベンチマークを構成する指数の騰落率、円ベース）。

●投資環境

<新興国債券市場>

米国の債券利回りは、期の前半は低下する局面もありましたが、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇を受けてインフレ懸念が強まったことや、F R Bが利下げを見送ったことなどから、期を通しては上昇（債券価格は下落）しました。一方、新興国債券が持つ米国債に対する上乗せ金利（スプレッド）は、リスク回避の動きから一時拡大する局面もありましたが、期を通してはおおむね横ばい圏で推移し、相対的に高い利回りを背景に、新興国債券の価格は米国債を上回って上昇しました。

<新興国株式市場>

新興国株式は、半導体・I Tを中心とした成長セクターへの資金流入などを背景に上昇しましたが、中国の景気減速の影響もあり上昇幅は先進国を下回りました。

<外国為替市場>

米ドル／円相場は、日米の金利差が大きい状態が続いたことなどから、円安ドル高が進みました。

●ポートフォリオについて

<当ファンド>

新興国インカム・インデックス・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の投資割合は高位を維持し、マザーファンドを通じて、主として国内外の金融商品取引所に上場している株式、投資信託受益証券（E T F）に投資することにより、エマージング・インカム指数の動きに連動する投資成果の獲得を目指して運用を行いました。

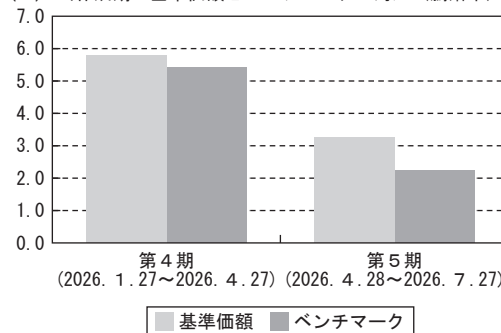
<マザーファンド>

主として国内外の金融商品取引所に上場している株式、投資信託受益証券（E T F）に投資することにより、エマージング・インカム指数の動きに連動する投資成果の獲得を目指して運用を行いました。

●当ファンドとベンチマークとの差異

当期間、ベンチマークは7.8%上昇しました。当ファンドはベンチマークを1.5%、マザーファンドはベンチマークを1.7%上回りました。信託報酬や売買コスト等の支払いがマイナスに作用したものの、ファンドが組み入れる上場投資信託（E T F）が連動対象とする指数とベンチマークを構成する指数が異なることや、ベンチマークとファンドで資産評価に用いる為替レートや時価評価のタイミングが異なることなどがプラスに寄与しました。

(%) 当作成期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとみなして計算したものです。

(注) ベンチマークはs u s t e nキャピタル・マネジメントが独自に算出するエマージング・インカム指数です。

■分配金について

収益分配方針に基づき、基準価額水準、市況動向等を勘案して、以下の通りといたしました。

なお、収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用いたします。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり、税引前）

項目	第4期	第5期
	(2026年1月27日 ～2026年4月27日)	(2026年4月28日 ～2026年7月27日)
当期分配金	120円	125円
（対基準価額比率）	0.94%	0.96%
当期の収益	120円	125円
当期の収益以外	－円	－円
翌期繰越分配対象額	2,668円	2,957円

（注）当期分配金の対基準価額比率とは、当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下切捨てで算出しているため、これらを合計した額と当期分配金（税引前）の額が一致しない場合があります。

■今後の運用方針

<当ファンド>

マザーファンドを通じて、主として国内外の金融商品取引所に上場している株式、投資信託受益証券（ETF）等に投資することにより、エマージング・インカム指数の動きに連動する投資成果の獲得を目指して運用を行います。

<マザーファンド>

主として国内外の金融商品取引所に上場している株式、投資信託受益証券（ETF）等に投資することにより、エマージング・インカム指数の動きに連動する投資成果の獲得を目指して運用を行います。

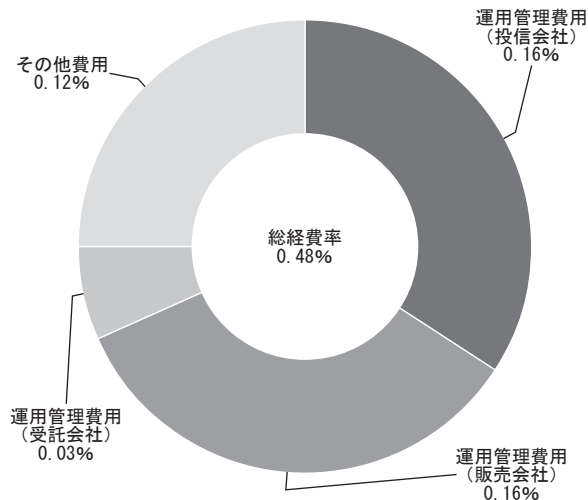
● 1 万口当たりの費用明細

項目	第4期～第5期		項目の概要
	(2026年1月27日～2026年7月27日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	23円	0.181%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,641円です。
（投信会社）	(10)	(0.082)	投信会社：ファンドの運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
（販売会社）	(10)	(0.082)	販売会社：交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	受託会社：信託財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	10	0.076	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（投資信託受益証券）	(10)	(0.076)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	8	0.060	(d) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(7)	(0.058)	監査費用：監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.002)	その他：信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	40	0.317	

- (注) 各金額（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しており、円未満を四捨五入しています。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点以下第4位を四捨五入しています。

（参考情報） 総経費率

当作成期の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.48%です。



（注）費用の比率は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値で、小数点以下第3位を四捨五入しています。

（注）上記の前提条件で算出した参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2026年1月27日～2026年7月27日）

●親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 4 期 ～ 第 5 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
新興国インカム・インデックス・マザーファンド	143,758	186,149	23,262	30,215

（注）口数および金額の単位未満は切捨てしています。

■利害関係人との取引状況等（2026年1月27日～2026年7月27日）

該当事項はありません。

なお、利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■第一種および第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況（2026年1月27日～2026年7月27日）

該当事項はありません。

■自社による当ファンドの設定・解約状況（2026年1月27日～2026年7月27日）

該当事項はありません。

■組入資産の明細

（2026年7月27日現在）

●親投資信託残高

銘 柄	第 3 期 末	第 5 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
新興国インカム・インデックス・マザーファンド	98,013	218,510	295,862

（注）口数および評価額の単位未満は切捨てしています。

（注）親投資信託の2026年7月27日現在の受益権総口数は、218,510,149口です。

※マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

■投資信託財産の構成

(2026年7月27日現在)

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新興国インカム・インデックス・マザーファンド	295,862	98.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,829	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	300,692	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年4月27日現在) (2026年7月27日現在)

項 目	第 4 期 末	第 5 期 末
(A) 資 産	221,357,316円	300,692,432円
コール・ローン等	1,813,017	2,108,664
新興国インカム・インデックス・マザーファンド(評価額)	217,147,715	295,862,741
未 収 入 金	2,396,584	2,721,027
(B) 負 債	3,256,023	3,275,516
未払収益分配金	2,065,983	2,869,247
未 払 解 約 金	985,286	50,764
未 払 信 託 報 酬	157,150	236,309
その他未払費用	47,604	119,196
(C) 純資産総額(A－B)	218,101,293	297,416,916
元 本	172,165,295	229,539,825
次期繰越損益金	45,935,998	67,877,091
(D) 受 益 権 総 口 数	172,165,295口	229,539,825口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,668円	12,957円

(注) 作成期首元本額 100,474,637円
作成期中追加設定元本額 175,156,267円
作成期中一部解約元本額 46,091,079円

■損益の状況

第4期 (2026年1月27日～2026年4月27日)
第5期 (2026年4月28日～2026年7月27日)

項 目	第 4 期	第 5 期
(A) 配 当 等 収 益	1,276円	2,546円
受 取 利 息	1,276	2,546
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	10,027,573	7,704,641
売 買 益	10,628,410	8,182,020
売 買 損	△600,837	△477,379
(C) 信 託 報 酬 等	△204,754	△307,901
(D) 当期損益金(A+B+C)	9,824,095	7,399,286
(E) 前期繰越損益金	2,852,979	9,779,923
(F) 追加信託差損益金	35,324,907	53,567,129
(配当等相当額)	(18,644,417)	(29,225,060)
(売買損益相当額)	(16,680,490)	(24,342,069)
(G) 合 計 (D+E+F)	48,001,981	70,746,338
(H) 収 益 分 配 金	△2,065,983	△2,869,247
次期繰越損益金(G+H)	45,935,998	67,877,091
追加信託差損益金	35,324,907	53,567,129
(配当等相当額)	(18,644,417)	(29,225,060)
(売買損益相当額)	(16,680,490)	(24,342,069)
分配準備積立金	10,611,091	14,309,962

(注) 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注) 分配金の計算過程

	第 4 期	第 5 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,256円	2,454円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	9,822,839円	7,396,832円
(c) 収益調整金	35,324,907円	53,567,129円
(d) 分配準備積立金	2,852,979円	9,779,923円
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	48,001,981円	70,746,338円
(f) 1万口当たり当期分配対象額	2,788.13円	3,082.09円
(g) 分配金	2,065,983円	2,869,247円
(h) 1万口当たり分配金	120円	125円

■分配金

	第 4 期	第 5 期
1 万口当たり分配金（税引前）	120円	125円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

■お知らせ

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が2026年4月1日で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することになったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

新興国インカム・インデックス・マザーファンド

第2期（決算日：2026年7月27日）

作成対象期間：2025年7月26日～2026年7月27日

「新興国インカム・インデックス・マザーファンド」は、2026年7月27日に第2期の決算を行いましたので、ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組み

運用方針	主として新興国の株式（DR（預託証券）を含む）、公社債、投資信託受益証券（ETF）への投資を通じて、sustenキャピタル・マネジメントが独自に算出するエマージング・インカム指数に連動する投資成果を目指して運用を行います。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	・新興国の株式（DR（預託証券）を含む） ・新興国の公社債 ・新興国株式、新興国債券を投資対象とする投資信託受益証券（ETF）
主な組入制限	株式、上場投資信託受益証券（ETF）および外貨建資産の実質投資割合には制限を設けません。

株式会社sustenキャピタル・マネジメント

東京都港区虎ノ門一丁目3番1号 東京虎ノ門グローバルスクエア

〔問い合わせ先〕

電話番号 03-6810-7856（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページ <https://susten.jp/>

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託 受益証比率	純 資 産 額
	(分配落)	期 騰 落 率		期 騰 落 率		
(設 定 日) 2025年 5 月19日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	百万円 0
第 1 期 (2025年 7 月25日)	10,654	6.5	10,618	6.2	99.0	5
第 2 期 (2026年 7 月27日)	13,540	27.1	13,066	23.1	100.2	295

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) ベンチマークはsustenキャピタル・マネジメントが独自に算出するエマージング・インカム指数です。当ファンドの設定日前日を10,000として指数化しています。エマージング・インカム指数は、新興国株式と米ドル建て新興国債券の価格変動リスクが長期的に概ね均等になるよう設計された合成指数です。基本の資産配分比率は新興国株式：米ドル建て新興国債券＝1：2です。新興国株式に相当する部分はFTSE Emerging Net of Tax（円換算ベース）、米ドル建て新興国債券に相当する部分はJ.P. Morgan Emerging Markets Bond Index Plus（円換算ベース）を使用します。同指数に対する著作権及びその他知的財産権についてはくファンドが対象とする指数の著作権等>にてご確認ください。（以下同じ）

(注) 設定日の基準価額は当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

■当期中の基準価額と市況推移

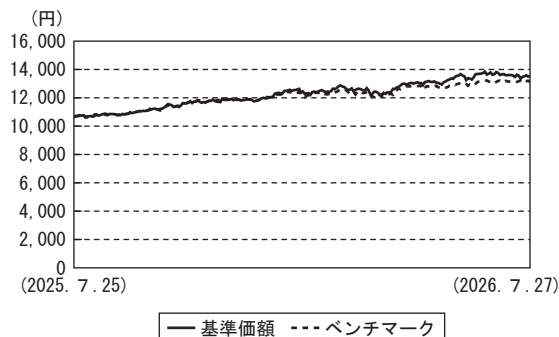
年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託 受益証比率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2025年 7 月25日	円 10,654	% —	10,618	% —	% 99.0
7 月末	10,739	0.8	10,745	1.2	98.9
8 月末	10,818	1.5	10,736	1.1	101.0
9 月末	11,195	5.1	11,166	5.2	104.2
10月末	11,800	10.8	11,786	11.0	99.5
11月末	11,913	11.8	11,903	12.1	99.0
12月末	12,046	13.1	11,993	12.9	102.1
2026年 1 月末	12,334	15.8	12,135	14.3	100.4
2 月末	12,800	20.1	12,486	17.6	101.9
3 月末	12,202	14.5	12,078	13.8	98.1
4 月末	13,041	22.4	12,797	20.5	100.5
5 月末	13,473	26.5	12,858	21.1	99.8
6 月末	13,820	29.7	13,074	23.1	100.1
(期 末) 2026年 7 月27日	13,540	27.1	13,066	23.1	100.2

(注) 基準価額は1万口当たりです。騰落率は期首比です。

(注) sustenキャピタル・マネジメントが独自に算出するエマージング・インカム指数です。当ファンドの設定日前日を10,000として指数化しています。

■運用経過（2025年7月26日～2026年7月27日）

●基準価額等の推移



第2期首：10,654円

第2期末：13,540円

騰落率：27.1%

(注) ベンチマークはsustenキャピタル・マネジメントが独自に算出するエマージング・インカム指数です。当ファンドの当作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

(注) 基準価額は1万口当たりの価額です。騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しています。

●基準価額の主な変動要因

当期間は新興国債券（+20.1%）、新興国株式（+29.0%）ともに上昇しました（いずれも当ファンドのベンチマークを構成する指数の騰落率、円ベース）。

●投資環境

<新興国債券市場>

米国の債券利回りは、期の前半はFRBの利下げを受けて低下（債券価格は上昇）した後、期の後半は原油価格の上昇に伴うインフレ懸念の強まりやFRBの利下げ見送りなどから上昇し、期を通してはやや上昇しました。一方、投資家の間でリスク資産への選好姿勢が強まったことなどから、新興国債券が持つ米国債に対する上乗せ金利（スプレッド）は縮小し、新興国債券の価格は米国債を上回って上昇しました。

<新興国株式市場>

新興国株式は、AI関連の需要拡大を受けて台湾などの半導体関連銘柄が大きく上昇したことなどから、ほぼ先進国株式と同様に上昇しました。

<外国為替市場>

米ドル／円相場は、日米の金利差が大きい状態が続いたことなどから、円安ドル高が進みました。

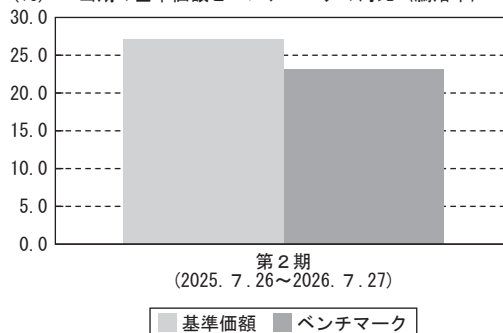
●当ファンドのポートフォリオ

主として国内外の金融商品取引所に上場している株式、投資信託受益証券（ETF）に投資することにより、エマージング・インカム指数の動きに連動する投資成果の獲得を目指して運用を行いました。

●当ファンドとベンチマークとの差異

当期間、ベンチマークは23.1%上昇しました。マザーファンドはベンチマークを4.0%上回りました。売買コスト等の支払いがマイナスに作用したものの、ファンドが組み入れる上場投資信託（E T F）が連動対象とする指数とベンチマークを構成する指数が異なることや、ベンチマークとファンドで資産評価に用いる為替レートや時価評価のタイミングが異なること、毎年末に実施されるベンチマークのリバランスに伴い当該時点でファンドとベンチマークの組入資産比率に一時的な乖離が生じたことなどがプラスに寄与しました。

(%) 当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



(注) ベンチマークはsustenキャピタル・マネジメントが独自に算出するエマージング・インカム指数です。

■今後の運用方針

主として国内外の金融商品取引所に上場している株式、投資信託受益証券（E T F）等に投資することにより、エマージング・インカム指数の動きに連動する投資成果の獲得を目指して運用を行います。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2025年7月26日～2026年7月27日)		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券)	24円 (24)	0.197% (0.197)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	－	－	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (その他)	1 (1)	0.012 (0.012)	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	26	0.209	

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額（12,258円）で除して100を乗じたもので、小数点以下第4位を四捨五入しています。

■ 売買及び取引の状況（2025年7月26日～2026年7月27日）

● 投資信託受益証券・投資証券

銘柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	NEXT FUNDS 新興国債券JPモルガン エマージングボンド（ヘッジなし）	169,240 (—)	200,115 (—)	15,120 (—)	17,904 (—)
	NEXT FUNDS 新興国株式MSCIエマ ージングインデックス（ヘッジなし）	50,176 (—)	104,206 (—)	7,794 (—)	16,596 (—)

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 売付の（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注) 金額の単位未満は切捨てしています。

■ 利害関係人との取引状況等（2025年7月26日～2026年7月27日）

該当事項はありません。

なお、利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■第一種および第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年7月26日～2026年7月27日）
該当事項はありません。

■組入資産の明細（2026年7月27日現在）

●国内投資信託受益証券、投資証券

銘	柄	当期末		
		口数	評価額	比率
		口	千円	%
NEXT FUNDS 新興国債券 J Pモルガンエマージングボンド（ヘッジなし）		157,610	194,254	65.7
NEXT FUNDS 新興国株式MSC I エマージングインデックス（ヘッジなし）		43,642	102,122	34.5
合	計	201,252	296,376	100.2

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の比率で、小数点以下第2位を四捨五入しています。

（注）金額の単位未満は切捨てしています。

■投資信託財産の構成

（2026年7月27日現在）

項	目	当期末	
		評価額	比率
		千円	%
投資信託受益証券		296,376	98.6
コール・ローン等、その他		4,193	1.4
投資信託財産総額		300,570	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年7月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	300,570,185円
コール・ローン等	2,972,266
投資信託受益証券(評価額)	296,376,605
未 収 入 金	1,221,314
(B) 負 債	4,706,027
未 払 金	1,985,000
未 払 解 約 金	2,721,027
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	295,864,158
元 本	218,510,149
次 期 繰 越 損 益 金	77,354,009
(D) 受 益 権 総 口 数	218,510,149口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,540円

- (注) 期首元本額 5,544,773円
 期中追加設定元本額 238,104,307円
 期中一部解約元本額 25,138,931円
 (注) 期末における元本の内訳
 新興国インカム・インデックス・マザーファンド 218,510,149円
 期末元本合計 218,510,149円

■損益の状況

(2025年7月26日～2026年7月27日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,350,705円
受 取 配 当 金	3,338,936
受 取 利 息	11,769
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	20,706,747
売 買 益	20,724,139
売 買 損	△17,392
(C) 信 託 報 酬 等	△13,640
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	24,043,812
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	362,734
(F) 解 約 差 損 益 金	△7,281,382
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	60,228,845
(H) 合 計(D+E+F+G)	77,354,009
次 期 繰 越 損 益 金(H)	77,354,009

- (注) 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
 (注) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■お知らせ

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が2026年4月1日で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することになったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。